

報道発表資料の配付日時 1月19日(金) 15時30分

発表項目 (行事名)	野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生状況について(高病原性 石狩振興局・札幌市 等)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>① 1月18日に釧路市内で回収された死亡野鳥(ハシブトガラス2羽)について、同日、釧路総合振興局が簡易検査を実施したところ、<u>A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認されました。</u> 今後、環境省が国立環境研究所に依頼して、高病原性の検査を実施します。</p> <p>② 北海道大学が調査研究の一環として、1月11日及び12日に札幌市中央区北海道大学構内で回収した死亡野鳥(カラス類1羽及びハシブトガラス1羽)について、同大学から、本日、遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が確認された旨、連絡がありました。</p> <p>③ 12月11日に根室市内及び12月14日に中川町内で回収され、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認されていた死亡野鳥(オオワシ1羽、オジロワシ1羽)について、環境省から、18日、遺伝子検査の結果、<u>病原性は判定不能と判断された旨、連絡がありました。</u></p> <p>◇ ①及び②の事案について、環境省は、各回収地点の半径10kmの区域内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化することとしています。</p> <p>〈今後の道の対応〉</p> <p>(1) ①及び②の事案について、関係振興局は、野鳥監視重点区域における監視を強化します。なお、現時点で道内において、野鳥の大量死等の異状を認める報告はありません。</p> <p>(2) ①の事案の回収地点から半径3kmの区域内には立入検査を必要とする家きん飼養農場はないことを確認済みです。②の回収地点から半径3kmの区域内にある家きん飼養農場については、飼養家きんに異状がない旨を確認済みです。また、現時点で道内の家きん飼養農場において、異状を認める報告はありません。</p> <p>(3) 北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会構成員には情報共有をもって発生予防対策の徹底を図ります。</p>		
参考	<p>○ ①の事案について、現時点では、<u>A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された段階であり、病原性は未確定です(高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されたわけではありません)。</u></p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。日常生活においては、過度に心配する必要はありません。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	<p>○ 死亡していたり、衰弱している鳥などの野生動物を見つけても、素手で触らない、触った場合は手洗いするなど、死んだ鳥などの野生動物との接し方について注意喚起をお願いします。</p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止のため、引き続き、家きん飼養農場における飼養衛生管理の自己点検や消毒の徹底について、積極的な報道による注意喚起をお願いします。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	環境生活部・石狩・釧路・根室(総合)振興局	
担当(連絡先)	<p>・環境生活部自然環境局野生動物対策課野生鳥獣係(担当者:課長補佐 車田) TEL:011-231-4111(内線24-384)ダイヤルイン:011-204-5205 公用スマホ:011-585-6102 内線24-582</p> <p>・農政部生産振興局畜産振興課家畜衛生係(担当者:課長補佐 横田) TEL:011-231-4111(内線27-791)ダイヤルイン:011-204-5441 公用スマホ:011-585-6102 内線20-519</p>		

令和6年（2024年）1月19日 15 時現在

令和5年（2023年）シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況

<令和5年（2023年）9月～>

本件	野鳥 ○例目	回収日 採取日	場所		検体情報			簡易 検査	遺伝子 検査	病原性
			振興局	市町村	検体の種類	種名	羽数			
	1例目	10/4	空知	美唄市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	2例目	10/18	釧路	釧路市	死亡野鳥	ノスリ	1	陰性	陽性	高病原性
	3例目	10/26	釧路	釧路市	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
	4例目	10/25	根室	別海町	死亡野鳥	タンチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
	5例目	10/31	釧路	厚岸町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	6例目	11/6	根室	標津町	死亡野鳥	タンチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
	7例目	11/6	根室	別海町	死亡野鳥	ハクチョウ類	1	陰性	陽性	高病原性
	8例目	11/11	根室	中標津町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	9例目	11/13	十勝	大樹町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	10例目	11/14	釧路	標茶町	死亡野鳥	タンチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
	11例目	11/15	根室	別海町	死亡野鳥	タンチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
	12例目	11/24	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	2	陽性	陽性	高病原性
	13例目	11/17	宗谷	浜頓別町	死亡野鳥	ヒドリガモ	1	陰性	陽性	高病原性
	14例目	11/19	根室	別海町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	15例目	11/19	釧路	厚岸町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	16例目	11/19	オホーツク	湧別町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	17例目	11/20	釧路	標茶町	死亡野鳥	オオハクチョウ	2	陰性	陽性	高病原性
	18例目	11/21	オホーツク	湧別町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	19例目	11/22	根室	標津町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	20例目	11/22	胆振	むかわ町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	21例目	11/24	釧路	標茶町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	22例目	11/26	オホーツク	斜里町	死亡野鳥	クマタカ	1	陽性	陽性	高病原性
	23例目	11/28	渡島	函館市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	24例目	11/25	根室	中標津町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	25例目	11/29	根室	根室市琴平町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	26例目	12/4	釧路	釧路市	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	27例目	12/1	根室	根室市琴平町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陰性	陽性	高病原性
	28例目	12/4	根室	別海町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
	29例目	12/7	釧路	釧路市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	30例目	12/11	日高	えりも町庶野地区	死亡野鳥	ハシブトガラス	2	陽性	陽性	高病原性
						1	陰性	陽性		
	31例目	12/12	十勝	広尾町	死亡野鳥	オジロワシ	1	陽性	陽性	高病原性
	32例目	12/13	日高	えりも町庶野地区	死亡野鳥	ハシブトガラス	2	陽性	陽性	高病原性
	33例目	12/19	日高	えりも町庶野地区	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	34例目	1/8	釧路	浜中町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
	35例目	1/8	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	36例目	1/9	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
●	37例目	1/11	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	カラス類	1	陽性	陽性	高病原性
●	38例目	1/12	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
●	※	12/11	根室	根室市	死亡野鳥	オオワシ	1	陰性	陽性	判定不能
●	※	12/14	上川	中川町	死亡野鳥	オジロワシ	1	陰性	陽性	判定不能
	疑い	12/18	十勝	幕別町	衰弱野鳥	タンチョウ	1	陰性	陽性	検査中
	疑い	1/6	釧路	釧路市	衰弱野鳥	オジロワシ	1	陰性	陽性	検査中
	疑い	1/10	日高	浦河町	死亡野鳥	オジロワシ	1	陽性	検査中	
●	疑い	1/18	釧路	釧路市	死亡野鳥	ハシブトガラス	2	陽性	今後、検査	

※ 遺伝子検査の結果、病原性判定不能と判断されたもの。